

## 2. しがの流域治水

# 「しがの流域治水」

～地域性を考慮した総合的な治水対策の展開～



ながす



河川の改修工事、適正な維持管理

## 滋賀県流域治水条例の目的

- 1. どのような洪水でも、人の命を守る（最優先）
- 2. 床上浸水など生活再建が難しくなる被害を避ける

人命  
最優先

そなえる



図上訓練、避難計画の作成、防災訓練

## 4つの対策を総合的に実施

ためる



グラウンドや森林などでの雨水貯留

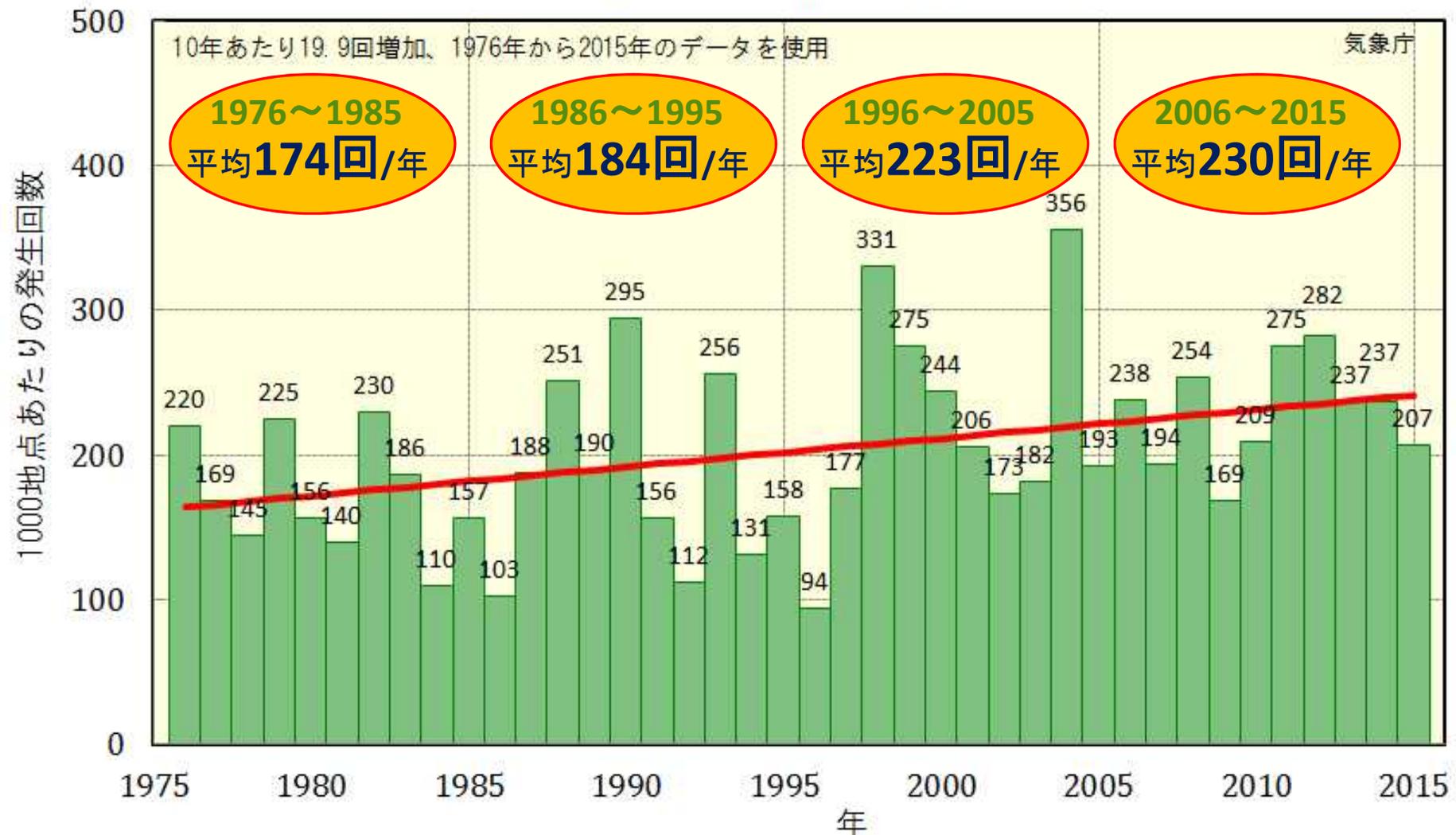
とどめる



宅地の嵩上げ、土地利用規制

# 1時間50mm以上の雨 → 増加している(全国)

[アメダス]1時間降水量50mm以上の年間発生回数

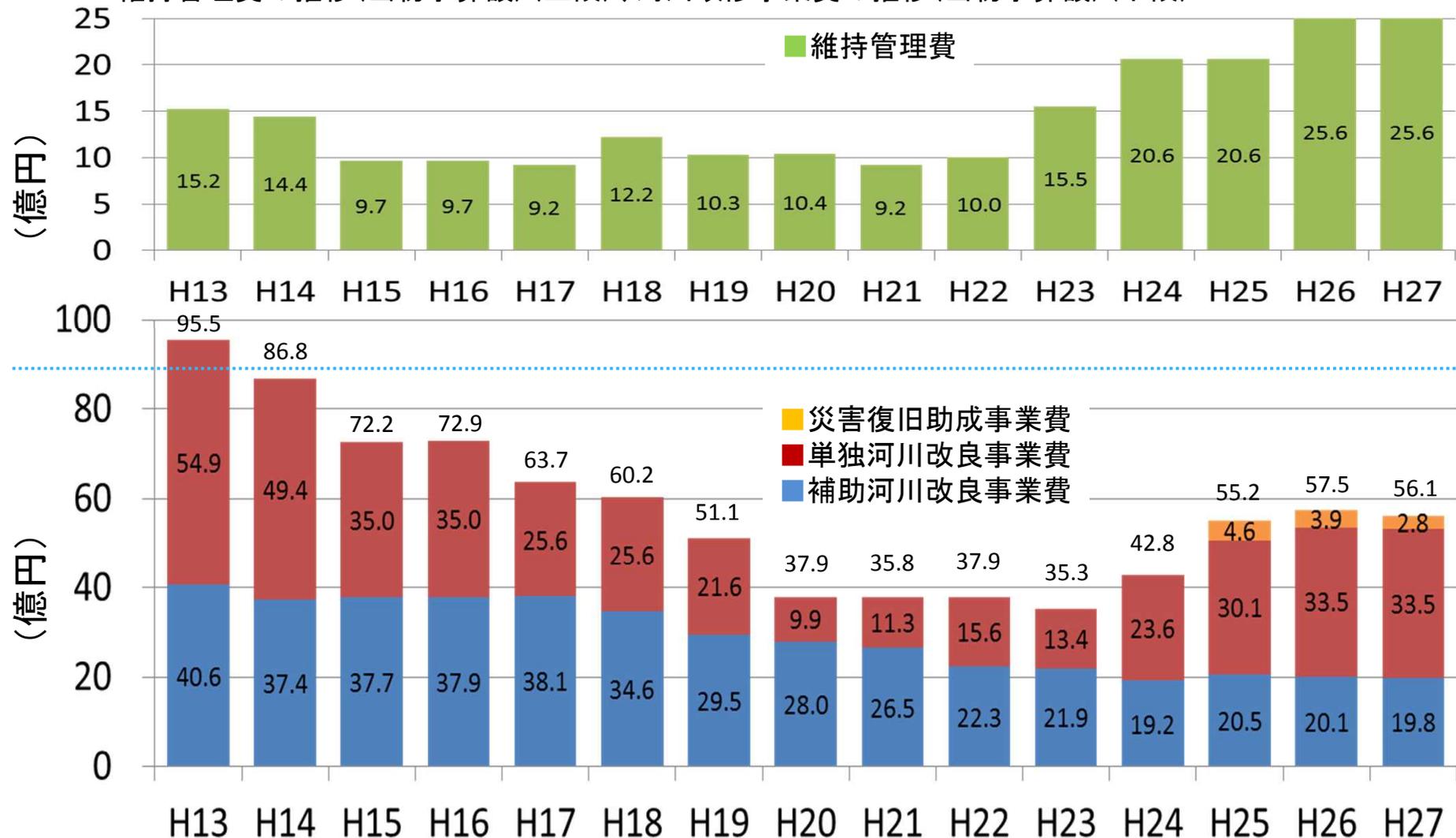


# 河川整備には長い時間がかかります。

治水安全度1/10を確保するためには今後100年以上要する。

(残事業費6,000億円÷57億円/年=約105年)

■ 維持管理費の推移(当初予算額)(上段)、河川改修事業費の推移(当初予算額)(下段)



# 平成16年7月 新潟豪雨災害 五十嵐川・刈谷田川



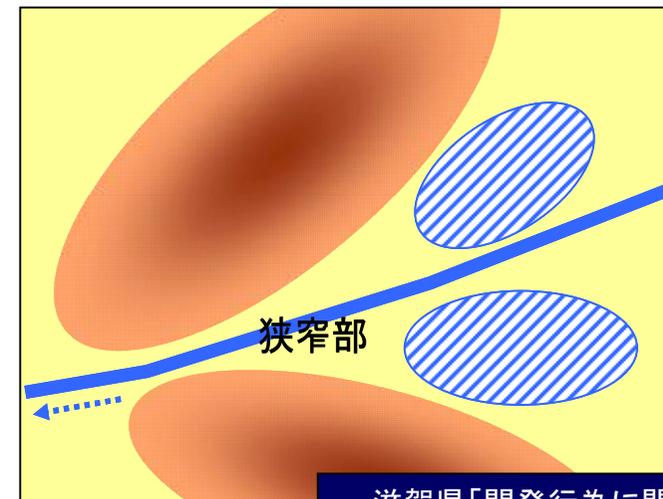
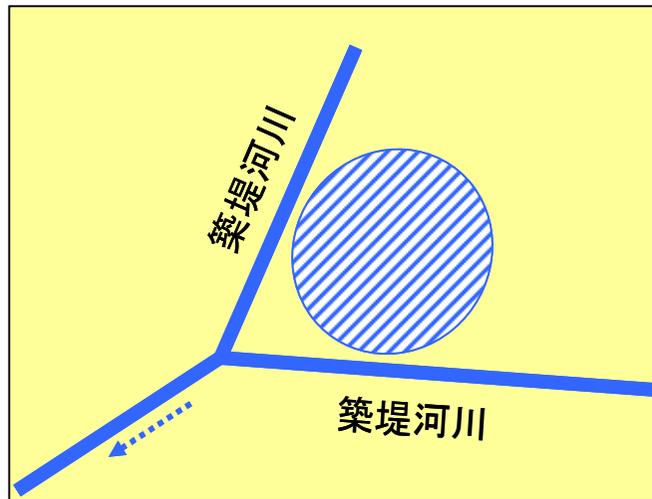
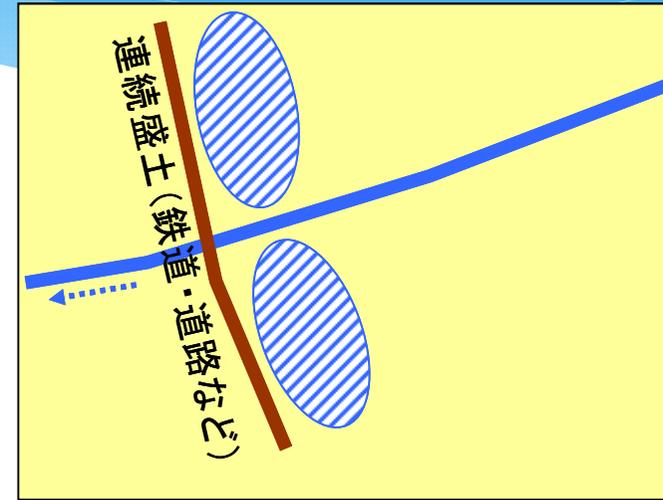
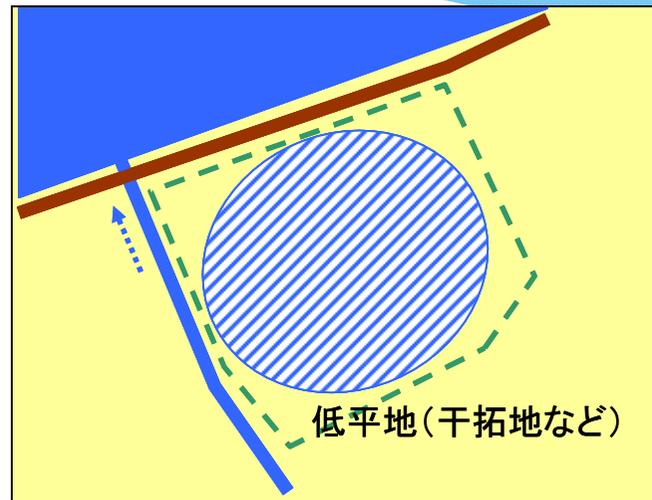
写真)新潟県三条市HP



## 「治水に完全はない」

- 100年に一度の洪水でも耐えられる堤防が完成し、上流にダムもありました。
- 新潟県下で死者15名，全壊家屋70棟，床上浸水・床下浸水合わせ8,295棟。

# 半永久的に水害リスクが残る箇所



滋賀県「開発行為に関する技術基準」  
から抜粋

上図に示す【くぼみ】や【せき止められている】ところは、  
河川整備の進捗にかかわらず水が集中する。